



3月 ほけんだより



2022年3月1日発行
新川崎みらいのそら保育園

少しずつ暖かい日も増え、春の足音が近づいてきました。子ども達はコロナ禍でも様々な経験を通して1年前より心も体も大きく成長しました。進級・進学にあたり1年の締めくくりの大切なこの月を元気に過ごし、新たな気持ちで新年度を迎えましょう。

「3月3日」耳の日

知っておきたい耳の異常のサイン

3月3日は3(み)3(み)にちなんで「耳の日」。子どもは風邪などの感染症から耳のトラブルを起こすことがしばしばあります。早く対応できるよう、耳の病気や聞こえの異常のサインを知っておきましょう。

耳の病気

子どもが風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがよくあります。中耳の中で炎症が起こって膿がたまり熱を出すことや、鼓膜を圧迫するため強い痛みが起ります。また、鼓膜がやぶれて膿(耳だれ)が出ることも。

聞こえの異常

*滲出性中耳炎

急性中耳炎が治りきらないと中耳にサラサラとした液(浸出液)がたまります。痛みや発熱などの症状がないため、発見が遅れることがあります。

*おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)

原因となるウイルスが内耳(音を感じる部分)に感染して、難聴を起こします。流行性耳下腺炎の予防接種を受けて感染を防ぐことが重要です。聞こえの異常は言葉の育ちにも影響します。子どもは聞こえにくいことに気づきにくく、正確に言えません。聞こえにくいサインを知って、早めに気付くことが大事です。

発熱など、風邪の症状に加えて……

- *しきりに耳を触る、頭を振る
- *耳に触られるといやがる

痛みや違和感のため、耳を触ったり頭を振ったりします。また、痛みのため機嫌が悪くなったり、夜なかなか寝なくなったりします。



※聞こえの異常(難聴)には生まれつき聴力が弱い場合と病気が原因となっている場合があります。

知って!!

*テレビの音が大きい

テレビの音を必要以上に大きくします。

*後ろから呼んでも気づかない

後ろから名前を呼んでも振り向かなかったり、返事をしなかったりします。左右差がある場合もあります。



子どもの花粉症について

花粉症は大人の病気と思われがちですが、近年子どもの花粉症が増えています。

花粉症の症状といえば鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、くしゃみが主なものです。

中でも子どもの場合は、鼻づまりと目のかゆみに現れることが多いようです。鼻づまりは見た目ではわかりにくいので、**口呼吸が多くなっていないか**観察しましょう。

また、目の症状として**充血したり目がむくんだり**することもあります。花粉症の症状はかぜの症状にも似ているので、気になる症状が現れたら早めに受診するようにしましょう。



進級・就学に向け、園でも徐々に準備を進めています。新しい環境にワクワクドキドキの子ども達ですが、慣れるまでは体調や気持ちが少し不安定になることもあります。ご家庭で普段と変わった様子が見られたり、体調に変化が見られた場合は、職員にご相談ください。



2月の報告

幼児クラスで流行性耳下腺炎1名、乳児クラスで発熱や呼吸器症状の出る子どもがいました。

- 14日:身体測定0-2歳児
- 15日:身体測定3-5歳児
- ※22日に予定していた園医健診は感染症拡大に伴い中止となりました。感染状況をみて3月実施予定です。

3月の予定

- 7日:身体測定3-5歳児
- 8日:身体測定0-2歳児
- 22日:健康診断全クラス

◎うちゅう組
「いのちのたいせつさ」について保健指導をする予定です。